

種名	カラスノエンドウ <u>Vicia sativa subsp. nigra</u> 				
	分類	被子植物双子葉植物綱マメ科	俗称		生活型
分布	本州～沖縄				
形態	葉は、互生する羽状の複葉で、小葉は三～八枚つく。小葉の先は少しへこみ、複葉の先には、巻きひげが出て他のものからむ。「烏の豌豆」という表現は誤り。				
類似種					
生息場所	野原などにはえる。				
繁殖	花期は 3～6 月。葉のわきにつく花は紅紫色の蝶形の花。豆果は長さ三～五 cm あり、広線形で黒く熟す。中には五～十個の種子ができる。若い芽先や幼果は食べられる。				
他生物との関係					
配慮のポイント					
引用文献：『野草・雑草 観察図鑑 成美堂出版』を改変					